

症例：#7 ISR への PCI

#### 手技

前回の PCI は#7 へ Be stent2 を留置、first major septal branch を近位側で若干 jail する形で留置されていた。今回の PCI の target は#7 の ISR で、jail したその first major septal branch の起始部にも狭窄がある。大きな中隔枝でありまず wire cross し protect を試みた。まず中隔枝を拡張すべく Sprinter 2.0mm balloon の通過を試みるも通過せず、Ottimo 1.5mm へ size down し stent strut を通過。Balloon 拡張後に抜去する際に stent strut に引っかかり抜去困難となる。強く引くも抜去できず、そのうちに balloon のシャフトの部分で断裂し冠動脈内に残存、近位部の末端は下行大動脈内の位置で残存。snare を使用するもガイドカテーテルが冠動脈内に引き込まれるのみで抜去できず。結局 trapper をガイドカテーテル内で拡張し、カテーテルごと引き、カテーテルとともに残存した balloon を抜去できた。その後 LAD へ Cypher stent を留置し手技を終了した。

#### 問題点

- ・ septal branch に固執しすぎない

#### 解決法

- ・ 最初に stent strut を balloon が通過しなければ無理に size down して通過させようとしていない
- ・ 複数のガイドワイヤーにて絡めて抜去する (今回の場合には新たな別のワイヤーの通過も困難であると思われ有効ではない可能性が高い)